

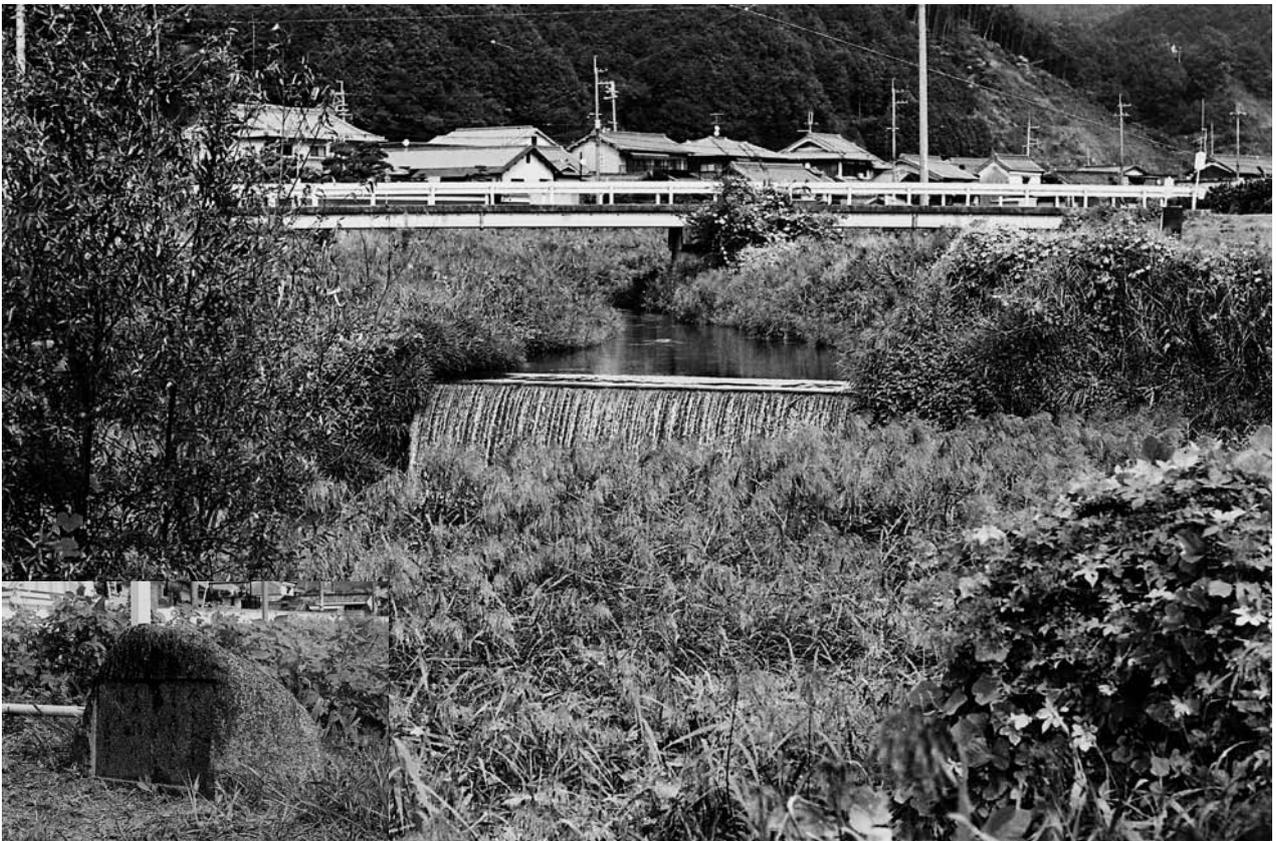
# 共生

奈良県生協連

2009年1月

NO.71

## 万葉のいぶきを求めて—(36)



この川を渡ったのか 歌碑の側で

ひとごと 人言を <sup>しげ</sup> 繁み <sup>こちた</sup> 言痛み おのが世に いまだ渡らぬ 朝川渡る  
但 <sup>たじ</sup> 馬 <sup>まの</sup> 皇 <sup>ひめ</sup> 女 <sup>みこ</sup>

但馬皇女の行動は、大きな噂となり、人々の指弾をあびたのでしょうか。但馬皇女は穂積皇子の宮から朝川を渡って帰るといふ大胆な行動にまでエスカレートします。

「人の噂が辛いので、私が今まで渡ったこともない朝に川を渡りました。」

当時の社会では、男性が女性のもとへ通うのが通例でした。そんな社会のルールを無視して穂積皇子のもとに通い、人目を避けて川辺の草をかき分けながら、朝に川を渡って帰ってきたのでしょうか。

この歌の歌碑は桜井市出雲の初瀬川の川べりに建っています。小さな小さな歌碑が、人目につきやすい場所なのに、誰一人顧みる人もなく、忘れられたように佇んでいました。

但馬皇女の燃えるような恋も、時の流れのなかに忘れ去られたのか、はたまた初瀬川の流れとともに流れ去ったのでしょうか。川音だけが静かに響いていました。



# 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

奈良県生活協同組合連合会 会長 逸見 啓



奈良県生活協同組合連合会(県連)に結集されている会員生協、組合員、役職員の皆さま、そして奈良県の生協運動の活動と事業にご支援、ご協力いただいている皆さまには、昨年後半の閉塞感からの解放を願いつつ、希望を託し新しい年を迎えられたことと思います。

アメリカ・ブッシュ政権の政策の行き詰まりで、世界では核や平和、環境の問題で多くの課題が未解決のままです。また、アメリカに端を発した金融危機により、世界経済全体にもろさやゆがみが噴出しております。日本も政治の先行き不透明感や懸念材料が山積し、麻痺状態となっております。また、国家財政・地方財政の破綻不安だけでなく、医療の後退、年金財政の危機的状況と社会保険庁の不透明な運営、介護や介護保険に関わっての不安と不正などと重苦しい事態が続いています。経済も世界的な金融不安のあおりを受け、消費の変調、雇用不安、派遣労働やワーキングプア、賃金の伸び悩み、原材料高に引上げられる形での物価値上げなど多重不安に身の竦む事態が進行しようとしています。日本経済の低迷と社会劣化が著しいことを直視すると、今の日本では「希望」が枯渇しつつあるように見えます。極めて厳しい経済的・社会的状況の下、国民一人ひとりが、これからの暮らしに明るい希望の灯が感じられる年でありませうようにと、心から祈らずにはおられません。

さて、私たちの生活、わが国の消費者政策のあり方に大きなインパクトを与えるものとして、一昨年来「消費者基本法」、「公益通報者保護法」、「消費者団体訴訟制度」と重要な法律が成立しました。かかる情勢のもと政府は昨年4月、相次ぐ消費者被害を前に消費者問題はもうこれ以上放置できないとし、「消費者の視点から政策全般を監視し、『消費者を主役とする政府の舵取り役』となる消費者庁(仮称)」の創設を表明し、地方レベルでも準備が整いつつあり

ます。歴史的な大転換を進める国の法案化の先行きが見えにくい中ですが、今後私たちも奈良県の消費者行政の充実強化のために積極的な取り組みが大切になります。

生協の事業環境は、少子高齢化と消費不況のうえに大型店の進出、競争の激化が一段と進み、極めて厳しいものがあります。組合員の皆さんの声を中心に運動と事業の改革・再構築を進め、今こそ生活協同組合の出番を創造しなければなりません。折しも消費者のくらしの変化や生協の今日的到達点、社会的要請を踏まえ、生協法の改正があり、昨年4月より施行となりましたが、生協運動を着実に進展させ消費者を主体にした社会の実現に努めていきましょう。

本年度積極的に取り組みたい課題に環境問題があります。21世紀は「環境の世紀」ともいわれ、全世界的に持続可能な社会にすることが求められています。京都議定書の第一約束期間のスタートの年であり、温室効果ガスの大幅削減の実現は不可欠な課題です。日本社会のあり方、枠組みを採求する重要な政策の一環をなすものであり、組織的に取り組んでいきたいと思ひます。

来年は県連創立20周年になります。また、生協法改正のもと県連はもとより、会員生協の社会的ポジションや役割の改革が求められています。県連のあり方や県連機能の強化について検討し方向性を明らかにして、地域生協、労済生協、大学生協の連帯と協同を強め、生協運動の視野と可能性の拡大、充実・強化してまいりたいと考えています。会員生協の新たな発展の年となりますようお祈りしますとともに、さらなる関係者の皆さまのご協力、ご支援を賜りますよう、年頭に当たりお願いし新年のあいさつとさせていただきます。

## もくじ

新年のご挨拶「県連逸見会長」……………	1	新型インフルエンザ……………	5
新年のご挨拶「県荒井知事」……………	2	会員生協紹介……………	6～8
奈良県生協大会……………	3	広がる協同・くらしの輪……………	9
消費者課題……………	4	つながる連帯・友好の輪……………	10



## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

奈良県知事 荒井 正吾



奈良県生活協同組合連合会の組合員並びに関係者の皆様、明けましておめでとうございます。

平成二十一年の年頭に当たり、まず、私たちの奈良県のさらなる繁栄と皆さまのご健勝・ご多幸を心からお祈り申し上げます。

さて、経済のグローバル化と地方分権改革の進展に伴い、地方財政においても地域間格差が拡大する中で、私は、就任以来、「財政の健全化と必要な施策の実現の両立」を目指し、県政の諸課題に取り組んでまいりました。現在、統計データやアンケートによる実態把握、施策・事業の実績の検証、分析・評価結果の施策への反映というマネジメントサイクルの取組を進めていますが、引き続き、「上司は県民」との意識を基本に、効率的な行政を運営していくとともに、県民ニーズを踏まえた諸施策の実現に努めてまいります。

今年、『経済活性化』と『くらしの向上』を二本の柱に据え、「行政運営の効率化と財政の健全化」、「効率的・効果的な基盤整備」、「協働の推進及び市町村の支援」という三つの基礎的な取り組みにより、この二本柱を支えることとしました。

『経済活性化』の一つめは、「企業立地と県内企業の活性化」で、企業が立地しやすい環境づくりに取り組みます。

二つめは、「平城遷都一三〇〇年祭と国営公園化を契機とした観光振興」です。平城京跡では、復元された大極殿を会場とした記念式典や古代行事の再現などを催す平城京フェアを行います。

なお、今年七月には全国高等学校総合体育大会が奈良県を主会場として開催され、全国からたくさんの方が奈良にお越しになりますので、もてなしの心を持って気持ちよくお迎えするための準備を進めています。

三つめに、「県内消費の拡大」のために、小売業・サービス業の活性化を推進します。

四つめに「農林業の振興」です。

また、『くらしの向上』の取り組みの一つめは、「医療・福祉の充実と健康づくり」です。

二つめに、「教育力の充実」です。

三つめに、「安全・安心」の地域づくりを進めます。

四つめに、「くらしやすい地域づくり」として、地域が主体となったにぎわいと活力のある地域づくりの支援などに取り組みます。

安全・安心な地域づくりについて、皆様方には、消費者や生活者の視点に立って、これまでと同様、安全・安心な商品を提供していただくとともに、消費者の視点に立った社会活動の中で、地域で支え合う組織づくりに、さらに発展・充実されることを期待しております。

県としましても、県民の声に耳を傾け、県民の視点で施策を進め、県民から信頼される県政をさらに発展させるべく、あらゆる課題に逃げることなく、積極果敢に取り組んでいきたいと考えております。県民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。最後に、奈良県生活協同組合連合会並びに各生活協同組合のますますの発展を祈念申し上げて新年のご挨拶といたします。



# 第19回 奈良県生協大会



11月29日奈良県婦人会館において開催、会員生協及び環境関連団体から74名が参加しました。はじめに、サークル「おてんとさん」が「MAKE THE RULU」キャラクター「シロベエ」のパフォーマンスと環境クイズで会場を盛り上げ、基調講演としてNPO気候ネットワーク浅岡美恵代表が最新情報を交え講演を行いました。また、会員生協から3団体が会長表彰活動の実践報告を行ない、それぞれ違った視点での取組みは参加者への刺激と交流を深めました。

## 【基調講演】 ～ 「地球温暖化の実態と解決に向けた課題」について ～



NPO気候ネットワーク  
浅岡美恵代表

生態系含めた環境の変化の現状と今後及び世界の動きと課題について講演いただき、参加者の環境問題への認識を深めました。同氏は、環境先進国との比較で日本の取組みの遅れを指摘、国際的には09年に開催されるCOP15コペンハーゲン合意が重要になるので、政治がもっと関与すべきと話された。そのために京都議定書第1約束期間の目標(90年比6%削減)の達成と上昇温度2℃未満の低炭素社会づくりを目指す環境関連法制定が重要で「MAKE THE RULU」キャンペーンへの協力要請とともに、子供たちの未来に温暖化のない世界を残そうと呼びかけました。

## 【会長表彰団体活動報告】



代表 竹村亮子

1. 「菜の花プロジェクト、小学校との連携活動」 「チームなっぴー」(コープ自然派奈良)  
2007年春、「菜の花プロジェクト」として同チームを立ち上げ活動を開始。田んぼに隣接する小学校に食農教育の一環として共同作業を提案、2008年から5年生の家庭科学習として、採油までのプロセスで「菜の花の浅漬け」「刈り取り作業」「菜種油を使ったお菓子作り」に取組みました。子供たちの「食」「農」「環境」を考える種蒔きとなって繋がって行く事に期待が広がっています。



専務理事 竹内 繁

2. 「奈良女環境アクション」 奈良女子大学生活協同組合  
食堂や購買の現場で、環境アクションが進んでいます。ゴミ容量減量や分別では奈良市から平成8年10月「地球環境賞」をいただきました。その他、ペットボトル圧縮機の設置、レジ袋の減量では家庭にあるレジ袋の再利用の呼びかけも行っています。2006年にはリサイクル弁当箱を提案、お店への返却をポイント制にし、回収率を高めました。これらの取組みを通じて学生一人一人の意識を高めることを目指しています。



代表 樽井雅美

3. 「One Dish Aide」(ワン・ディッシュ・エイド) 「食器リサイクルの会」(ならコープ)  
ならコープディアーズコープ生駒店での取組みを起点に広がりはじめ、主な活動は、1) 陶磁器食器ごみ中心にゴミの軽減と3Rの促進。2) 再生品の普及。3) 環境教育を柱に取組んでいます。キャンペーン企画ではじめたリサイクル・再生品の店頭陶器市が大人気に、行政と共同取組みにも発展、イベントとして地域活性化にも繋がっており、メディアからの注目もあって全国一般店舗含め27店舗に取組みが広がっています。

## 消費者問題

# 「奈良の消費者行政を考える会」が発足しました！



12月23日(火)、奈良県食品・生活相談センターにおきまして「奈良の消費者行政を考える会」の発足と記念講演会が開催されました。この呼びかけは奈良弁護士会北條正崇氏、地婦連中島祐子氏、こむらいふ奈良辻由子氏、生協連仲宗根の三団体・一個人で行われ、県内から消費者・相談員・弁護士・行政関係者など70人の参加がありました。「考える会」代表の北條正崇弁護士のあいさつ、事務局より会の設立経過や趣旨、規約の報告をした後、圓山茂夫氏（明治学院大準教授）による「消費者庁創設と地方消費者行政の課題」の講演に耳を傾けました。政府では国会に消費者庁設置関連法案を上程していますが、審議入りできていません。このため、地方消費者行政の活性化のための3年期限の基金設置を盛り込んだ補正予算案の成立を目指しています。奈良県ではこれを受け、09年から3年間の計画に向けて奈良県

消費者行政活性化案の審議を進めています。

これには市町村の消費者行政の活性化が大きなポイントになりますが、消費者も含め関心が高まっているわけではありません。

圓山氏からは消費者庁設置に至る背景、消費者が主役となる社会の構築、そのための国と地方消費者行政の充実の必要性など、奈良県にも参考になる事例も含めたお話をいただきました。市町村の積極的な取組みが期待されます。



「考える会」では翌24日、荒井正吾知事に地方消費者行政充実強化に向けた要請書を提出し懇談しました。奈良県の消費者行政は県自らの取組みや情報公開など、他県に比べ先進部分もありますが、さらなる充実強化のために新たな活性化計画でうたわれている中核センターと市町村の連携、広域センターの設置など知事のご意見を伺いながら懇談しました。「考える会」では奈良県内での消費者行政の格差を是正し充実させるために、消費者・行政・相談員や専門家を交えた情報交換と意見交換の場を考

えています。みなさまの参加をお待ちしております。

「奈良の消費者行政を考える会」事務局 奈良県生活協同組合連合会内  
〒630-8136 奈良市恋の窪1-2-2 TEL 0742-34-3535 FAX 0742-34-0043

## ならコープでは新型インフルエンザ対策を進めています

ひとたび爆発的に感染すれば、日本国内の人口の4分の1にあたる3200万人が感染し、最悪の場合64万人が死亡するといわれている新型インフルエンザ。職員への感染を予防し、組合員に商品を提供し続けるという生協の社会的使命を果たすために、危機管理体制での対応をならコープでは準備しています。

1. 新型インフルエンザの原因になると考えられている鳥インフルエンザは、ヒトに感染した場合、38℃以上の発熱、下痢、嘔吐、腹痛、胸痛、鼻出血、歯肉出血などの症状を引き起こし、重症化すると死に至る可能性が高い疾患です。これがヒトからヒトに感染する新型インフルエンザに変化した場合、全ての人が抵抗力（免疫）を持っていないため、世界中で同時大流行（パンデミック）し、人命や社会経済活動に多くの被害をもたらすことが心配されています。
2. 新型インフルエンザの予防対策  
インフルエンザは、一般に、患者の咳、痰などに含まれるウイルスを吸い込むことなどで感染します。また、患者との接触や流行地域に入ることは注意を必要とします。新型インフルエンザであっても、通常のインフルエンザ対策をすすめることが前提となります。
  - (1) 個人・家庭での予防（予防接種、咳エチケット、マスク、手洗い）など
  - (2) 感染者の出勤を制限（体温計の設置、訪問者を記録、手洗い、会議の自粛）など
  - (3) 組合員を感染から守る（個人別の商品配達、備蓄商品パックなどドライブスルー方式での供給）など
  - (4) 防護具、衛生用品の備蓄（手洗い用アルコール、サージカルマスク、ゴム手袋、ティッシュペーパー）など
  - (5) 生活必需品の備蓄（最低2週間分の食料品、日用品）
3. 行動計画（災害対策本部の設置基準）

	ならコープの対応			県の行動計画概要
	緊急対応レベル	対策本部設置基準	行動計画	
フェーズ3B	レベル1	対策会議の設置	情報収集と周知	県・保健所の相談窓口の設置
フェーズ4A 5A	レベル2	警戒体制を作り、災害対策本部の設置を速やかに判断する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型インフルエンザ罹患患者は県立病院に診断に行くこと</li> <li>・出勤しないように要請</li> <li>・職員の通勤経路の変更検討</li> <li>・緊急でない会議、会合の中止</li> </ul>	新型インフルエンザの疑い患者は県立病院において外来診察、医大付属病院、奈良医療センターにおいて入院診療を行う
フェーズ4B 5B	レベル3	災害対策本部を速やかに設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂、休憩所など職員が集まる共同施設の閉鎖検討</li> <li>・店舗、事業所の閉鎖を検討・協力体制要請・代行者確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知事による人から人感染発生を宣言</li> <li>・発生地域の従業員、住民、入所者などへの臨時休業の要請</li> </ul>
フェーズ6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の閉鎖判断</li> <li>・優先業務の実施判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知事による非常事態宣言</li> <li>・入院措置の中止</li> <li>・全医療機関による診断治療の実施</li> </ul>

厚労省はじめ、各都道府県では危機レベルに応じた行動計画を策定しています。コープこうべにおいては災害時に供給（備蓄）すべき商品、献立例などを明石市新型インフルエンザフォーラムで発表しており、事業のあり方、職員の健康管理について研究が進められています。ならコープにおける取組みは、新型インフルエンザ対応方針を出し、奈良県の行動計画についての学習や食品・マスク・手袋・消毒液などの備蓄の検討、新型インフルエンザ発生時の店舗、共同購入などの運営方法の検討、人との接触を控えた商品供給の方法、出勤できる職員が少なくなっても運営できる事業形態など研究をすすめています。



# 今年もよろしくお願いたします

(設立順、数値は2008年3月現在)

会員生協より「我が生協」の自己紹介、ご自慢を寄せていただきました。

## 奈良県労働者共済生活協同組合

創立：1961年5月 組合員数：63,413人 全労済掛け金：43億8300万円

新年あけましておめでとうございます。

労済生協は、県生協連のなかでも地域生協や大学生協のように商品を提供する生協とは違い、助け合いの保障商品（共済）を提供する共済生協、みなさま方には中村雅俊さんや白石美帆さんがメインキャラクターとしておなじみの全労済でございます。「こくみん共済」や「マイカー共済」を中心に、助け合いの精神に基づく共済事業を通じこれからも奈良県の多くの組合員に生涯にわたる「安心・安全」を提供しつづけていきたいと考えております。今年が丑年です。しっかりと地に足を付け、ゆっくり急いで、厳しい環境を乗り越えていきたいと存じます。奈良県生協連発展のためみなさまと共にがんばってまいりましょう。

(専務理事 三輪敏道)

## 奈良女子大学生生活協同組合

創立：1968年4月 組合員数：3,970人 事業高：2億8400万円

明けましておめでとうございます。食堂、購買、そして学生委員会 WINDY で成り立っている奈良女子大学生協の紹介をさせていただきます。食堂では、近年改装したばかりの明るい雰囲気の中で、明るく優しいお母さんスタッフの心のこもったとても美味しいメニューが学生たちに提供され、お昼は大勢の学生で賑わっています。おかずバイキングやライスのSSサイズなど、食事に敏感な女子にも最適なメニューになっています。お腹に優しく、美味しく、そして栄養もしっかりとれる！女子大生にとってはこの上ない素敵なランチタイムを過ごせる場所です。購買でも、明るいスタッフが学生たちの声を最大限に生かしたお店作りに励んでいます。なにより、ここのお菓子のバリエーションは豊富！甘いもの好きな女子大生は大満足です。本や文房具も揃った、至れり尽くせりなお店です。学生委員会 WINDY は毎年、七夕まつり、クリスマスパーティーを行い、生協を盛り上げるとともに、冬から春にかけては新入生のためのサポート活動を行っています。学生と生協の間に立ち、学生の目線で生協のことを考え「明るく楽しく、やる時は真剣に！」をモットーに日々活動しています。奈良女子大学は、学生数 2189人 大学院生 628人 留学生 124人 附属学校幼稚園 160人 小学校 480人 中等教育学校 720人です。来年で100周年を迎えます。

(学生理事 浦野 梓)

## 市民生活協同組合ならコープ

創立：1974年7月 組合員数：227,630人 事業高：363億3000万円

新年明けましておめでとうございます。ならコープは、1979年に誕生しました。今年35才です。当時は、食品添加物や偽装食品が大きな社会問題になっており、また石油の元売会社による売り惜しみなどもあって物価が異常に高くなり、生活が圧迫されるということが起こっていました。そんなときに、安心して食べられる食品を安定的に適正な価格で手にいれようと、生活を支える女性たちが自主的・自発的につくったのが生協=ならコープです。そして、その地域生協づくりを支えたのが実は京都や奈良の大学生協なのです。当時の学生たちが、お母さんくらいの女性たちといっしょに「生協をつくるのでぜひ加入してください」と生協づくりの輪を広げていってくれたのです。現在、ならコープは共同購入や個配、店舗の事業を奈良県の隅々で展開し、また、環境や福祉、平和の活動などに取り組んでいますが、これも大学生協の支援があってこそなのです。今年、ならコープは創立35周年を迎えますが、今、創立当時のことをあらためて「記念誌」にまとめているところです。完成の暁にはぜひ、お読みいただきたいと思います。今、世相は35年前と大変よく似ているような気がします。こんなときこそ、県内の生協がより一層連帯しながら、それぞれの組合員の生活を守っていききたいと思えます。

(組織広報部 部長 青木秀俊)

### 奈良教育大学生協同組合

創立：1975年11月 組合員数：1,539人 事業高：1億7800万円

教育大生協は2つの柱 ☆コミュニケーションあふれるキャンパスの雰囲気づくりに貢献 ☆大学の主人公である学生の自立と成長に貢献 を掲げて進めています。理事会内に4つのプロジェクトを設置し、理事と生協職員が役割分担をして進めています。1) アゴラプロジェクト：生協前の憩いの広場であるアゴラ広場の活性化のためのプロジェクト 2) 地下水プロジェクト：キャンパス内に井戸を掘って、地下水を食堂で利用したり奈良教育大オリジナルの飲料水の販売を計画していますが、オリジナルのお酒ができないかと話題になっています。3) オリジナルグッズプロジェクト 4) マンガプロジェクトで、それぞれ結果が楽しみです。学生委員会では新入生歓迎企画として推薦入試の時の「受験宿泊なんでも相談会」から「受講登録なんでも相談会」「お料理講習会」「さくらハイク」などを企画し毎年新入生から好評を得ています。また食生活と健康を考える「食生活なんでも相談会」を実施し、栄養士の方のアドバイスや「体脂肪測定」「肌年齢測定」などを行っています。夏の七夕祭りには地域の方の参加も視野に入れようとの意見も上がっています。今年は大学創立120周年にあたり、奈良教のイメージキャラクター「なっきょん」を使ったオリジナルグッズを生協も協力して作る予定です。

(専務理事 山下正純)

### 奈良県立大学生協同組合

創立：1995年3月 組合員数：553人 事業高：3100万円

奈良県立大学生協の特徴は、素直で優しい学生と、明るく一生懸命な生協職員、それを支え温かく守ってくれる大学の教職員と一緒に輪を作って、協力して育てているそんな生協です。学生たちはお店が困っている時は我慢もしてくれるし、アイデアもいっぱいくれます。新しい商品やメニューが出てきた時には、本当に目を輝かせて喜んでくれます。そんな学生達に生協職員は「もっとしてあげたい！喜んでほしい！」という気持ちで一生懸命働いています。教員は生協の活動を通じて学生が立派に成長していることを認識していただき、生協に活躍の場を与えてくれます。店長が一人ではできないことを多くの大学職員さんがサポートして下さいます。そんな一人一人がもっている思いやりや優しさが生協をここまで育ててくれました。学生との距離が近いだけでなく、学生・教職員・生協職員と一緒に育んでくるのができたのが奈良県立大学生協です。

(店長 崎濱 誠)

### 奈良工業高等専門学校生活協同組合

創立：1996年3月 組合員数：1,223人 事業高：9600万円

高専生協の特徴として、規模は組合員数約1200名と決して大きくはなく、年齢構成が高校生と短大生に該当する5年制であることがあげられます。また卒業生の一部はさらに専攻科に進んだり、他大学に編入学します。購買店には文具やパソコン周辺機器、日用品のほか多品種の菓子類や飲料が棚をうずめており、レジ周りには各種「駄菓子」が所狭しと並んでいます。お菓子については学生委員のチームが議論しながら「今週の注目商品」の棚に並べるものを選定しています。また他の学生委員はメモリーやイヤホンなどの品揃えを職員と一緒に進めています。食堂ではこづかいの少ない学生のために安く栄養価の優れたメニューを中心に提供しています。昼の忙しい時間帯には学生がレジを担当してサポートしてくれるなど、まさに職員・学生総力でお店を盛り立てています。春や夏にはこれまで、大山・美敷（みたに）牧場での「大山夢プロジェクト」企画や大山乳業訪問研修にも学生が多数参加し、帰ってきてからも壁新聞などを通じて牛乳普及キャンペーンにも積極的に取り組んでいます。

(店長 芝田考一)

### 大阪樟蔭女子大学関屋キャンパス生活協同組合

創立：1996年8月 組合員数：1,388人 事業高：1億5800万円

奈良の生協のみなさま、新年あけましておめでとうございます。当生協は奈良県と大阪府の県境にある香芝市に位置し、小高い山の上にある緑に囲まれたキャンパスの中にあります。大学の周りには何も無いので、学生の皆さんには入学時に全員生協に加入していただいております。当生協は、学生

が元気になり、大学が活気溢れることを目標にして事業活動を行っています。物品の販売以外にもキャリア支援の講座なども行っております。当生協の自慢は学生委員会が非常に元気だということです。学生委員会は学内でも非常に重要な立場であり、何かあると先生や大学事務から必ず声がかかる頼りにされている存在です。様々な取り組みを通じて学生が悩み、学び、成長する姿が先生や大学事務から共感をよんでいます。女子大学ですのでいずれは子どもを産み母になり、主婦となる方が数多くいます。賢い生活者を育てるという視点から、他の生協のみなさまにもご協力いただきますようお願いいたします。  
(店長 柳澤克哉)

#### 生活協同組合コープ自然派奈良

創立：2002年10月 組合員数：3,681人 事業高：6億1400万円

新年おめでとうございます。私たちコープ自然派奈良は「農・食・環境」を守るため国産派宣言をきっかけ、生物多様性農業や有機農業を推進し自給率向上や地域循環を目指しています。昨年は「田んぼの生き物調査」を天理市で開催。土中の生き物を調べ、農業と生物との関わり大切さを学びました。また、食の安全を守り、次世代に放射能汚染という負の遺産を残さないために「六ヶ所村核燃再処理工場反対」集会を開催。原子力に頼らないエネルギー自給を目指し、情報提供を行いました。組合員活動も活発で、アレルギー問題、菜の花プロジェクト、花育、手づくり石けん、異文化交流、健康生活、平和、保育等をテーマに様々なイベントを実施、菜の花プロジェクトでは小学校の環境学習と連携した活動が県連表彰されました。11月には新しい物流センターが神戸に完成。さらなる飛躍を目指します。今年も地域が元気になる取組みを県連と連携しながら実施していきます。(専務理事 前田陽一)

#### 生活クラブ生活協同組合・奈良

創立：2007年1月 組合員数：1,963人 事業高：2億9100万円

わが生協の自慢は

☆組合員の年齢層ですが、全組合員のデータはありませんが、組合員アンケートによると30歳代の組合員が半数強を占めていました。(但し回収率10%です)

☆配送スタッフの8割が正規職員であること。

☆登録商品(消費財)の多さでしょうか。軟弱野菜は登録のみ、常備野菜(ジャガイモ、玉ねぎ、人参)も登録のみ。フェアトレードのバナナ、特別栽培の産直米、鮮魚ボックス、豚・牛のへレ肉、パスタライズド牛乳、食パン、産直卵。一こまで登録商品を残しているのは全国的に見て珍しいのでは。

☆県内の生協で設立が一番新しいこと。

☆びんのリユースに取り組んでいますが、牛乳びんでは99%以上回収していること。ケチャップやマヨネーズ、ソースなどはリユースびんのみで供給するなど一貫性のある取り組みに努めていること。

☆「微生物とミネラルを活用したBMW技術を米などの生産に応用する」生産者と提携し「技術運動により相互の関係を豊かに」一にチャレンジしています。  
(理事長 立石昭彦)

#### 奈良県生活協同組合連合会

創立：1990年5月 会員数：9会員(大学生協5、地域購買生協3、共済生協1)  
総組合員数：305,360人 総事業高：380億1000万円

会員生協の支援と連帯を図り、行政や地域社会の窓口、諸団体と連携活動が主な役割です。会員生協の課題や問題意識を生活協同組合として、また社会の一員・消費者団体として具体化し活動しています。主な課題は社会的課題として消費者課題、食の安全課題、防災課題、平和課題などに取り組んでいます。仲宗根と増本の2名体制でやり繰りしています。9つの会員生協ともどもよろしく願いいたします。



# 広がる協同・くらしの輪

## □ピースアクション 2008「映画会とピースキャンドル」を開催！

10月11日県連を呼びかけ人とするピースアクション実行委員会主催による「映画上映会とピースキャンドル」を奈良市内にある「ならまちセンター」で開催し、約120名の会員生協役員と組合員が参加。アフガン紛争を題材にした映画「アイ・ラブ・ピース」を見た後、平和への思いを込めてキャンドルに点灯、ミニコンサートの他、参加者がそれぞれの「大切な人」に平和への思いをはがきに託し、集めたはがきは09年元旦に参加者それぞれの「大切な人」に発送しました。



## □生協法施行 60 周年記念 " 厚生労働大臣表彰 "

10月31日生協法施行60周年を記念して健全かつ模範となり生協運動の発展に寄与された組合及び個人に対して、その功績を称える目的で授与されるもので、厳しい審査の中、全国では団体32組合、個人21名が受賞しました。表彰式は霞ヶ関の厚生労働省で開催され、奈良県からは、個人は瀧川潔県連副会長、団体は奈良女子大生協（大塚浩理事長が代表出席）が受賞しました。終了後、日生協主催による同祝賀会が開催され、他の受賞者とともに、受賞の喜びを深めました。



写真（左）女子大生協大塚理事長  
（右）瀧川県連副会長

## □生協行政合同協議会 【県食品・生活安全課】

11月20日奈良県文化会館において2008年度第2回生協行政合同協議会を開催しました。同協議会は、春と秋の年2回定例で開催。今協議会の主な内容として、事前提出した「2009年度に向けた要望書」に対して回答をいただき、それに基づいて質疑と懇談を行いました。

食の安全では条例制定について、消費者課題では一元化問題について、防災課題では協定書の見直しを柱に要望、組合員の声を届けました。



（正面左）から藤野主幹、島地係長、吉田主査

### 消費者支援機構関西 (KC'S)

奈良県生協連も正会員であるKC'sでは消費者にとって不利な約款や不当勧誘、不当表示の取り消しを求めて申入れや差止請求裁判を行っています。最近の事例をご紹介します。

警備会社セコムとの交渉では約款の一部『一方的な料金改定条項など9項目』が改訂されました。セコムの担当者の「企業の利益と消費者の権利のバランスの取れた約款に変更した」とのコメントがテレビ報道されました。また差止請求裁判は2件、貸金業者ニューファイナンスと英会話学校グローバルトリニティとの間で行っています。グローバルトリニティは各地のセンターに不当勧誘の相談があり、就職活動中の学生に被害が多発していました。身近な所で「これはおかしい」という契約がありましたらKC'sに情報をお寄せください。 <http://www.kc-s.or.jp/>

## □県連臨時総会

10月30日監事1名退任に伴う役員補充のための臨時総会を開催。当日は本人及び書面出席で



【新任監事 坂梨勝利氏】

臨時総会は成立。異議なく理事会推薦で現労済生協監事 坂梨勝利氏が選任されました。

# つながる連帯・友好の輪

## □たべるたいせつフェス 2008 in 大阪

11月1、2日大阪城ホールにおいて日生協はじめ近畿一円の生協が協同して、「食を考える」をコンセプトに多彩な模様しやイベント企画通じて、「3つのきずな」1) 信頼のきずな 2) 連携のきずな 3) 食卓を囲むきずなについて提案、食育や様々な切口での食の活動についてアピールしました。両日で親子連れなど約 37,000 人が参加し、無事終了しました。



## □出会い大和の味フェア（主催：奈良の食文化研究会）

11月9日瀧川県連副会長が理事長を務める同会主催で奈良市ならまちセンターにおいて開催されました。県下の珍しい郷土食を紹介、同時に木工品展示即売会を併設、昔ながらの「ちんどんや」による広報や太鼓演奏もあり、加えて平城遷都 1300 年キャラクター「せんとくん」の登場には観光客の注目が集まるなど多くの来場者で賑わいました。



## □第 3 回奈良県下消費者団体等との意見交換会

11月19日県文化会館で奈良農政事務所主催で第3回が開催され、7団体19名が出席。主な内容として、1) 事故米の経緯 2) 食全般に渡る安全対策及び基準等について報告があり、合わせて、県のご担当から「なら食の安全安心確保の基本方針」について説明を聞き、意見交換を行いました。食の安全確保の点で率直な消費者の声が出されました。



## □消費者行政合同懇談会（KC'S）

11月25日大阪で2府5県と政令市から行政担当12名及び各府県生協連はじめ KC'S 会員団体16団体が出席し開催され、奈良県からは県食品・生活相談センター大前副所長が出席されました。09年10月から「特定商取引法」「景品表示法」への団体訴権差止め請求権拡大を見据えて、現状認識の共有が進み、被害情報の共有化について意見交換が行われました。



## □京滋・奈良地域センター総会



12月6日京都府立大学で開催されました。

## □社協ボランティア本部立上げ訓練



12月15日県社会福祉総合センターで開催されました。

# 県連日誌

## 10月

- 1日 地連運営委員会
- 2日 近畿地区府県連協議会
- 8日 地連クライシス学習会
- 9日 地連防災協議会
- 10日 COP15 準備会
- 11日 ピースキャンドル
- 14日 県不法看板防止キャンペーン
- 17日 地連府県連協議会
- 18日 県連監査
- 30日 県連臨時総会・消費生活審議会
- 31日 厚生労働大臣表彰

## 11月

- 1～ たべるたいせつフェス
- 2日
- 6日 新米試食会
- 9日 奈良の食文化研究会フェア  
JA ならけん合併 10周年
- 13日 県連あり方検討会
- 14日 こむらいふ奈良
- 19日 第3回奈良農政事務所懇談会
- 20日 県連理事会・生協行政合同協議会
- 25日 消費者行政合同懇談会(KCS)
- 29日 第19回奈良県生協大会

## 12月

- 2日 地連運営委員会
- 4日 近畿農政局懇談事務局会議
- 10日 全国県連責任者会議
- 11日 日生協商品事故意見交換会
- 15日 県ボランティア本部立上げ訓練
- 19日 日生協臨時総会
- 23日 消費者行政を考える会発足記念講演会
- 24日 「消費者行政を考える会」知事懇談
- 25日 県水田農業推進協議会
- 26日 こむらいふ奈良

## お知らせ

適切なリフォームで安全・安心な住まいを

### 集まれ! 住まいと暮らしのフェスタ

ご来場者には  
非常時安心  
グッズを  
プレゼント!

日時

2009年1月31日(土) 10:30～16:00

会場

田原本青垣生涯学習センター<弥生の里ホール>  
磯城郡田原本町阪手 233-1

内容

リフォームセミナーとして家具転倒防止対策や耐震含めた住まい何でも相談コーナー等  
住まいに関する情報が満載! 木工体験や測量体験、地震体験などもあって楽しい企画満載!

■主催：なら安全安心住まい・まちづくり協議会

■協賛：(株)サクラクレパス

■問合せ：奈良県建築課 TEL 0742-27-7564

## 編集後記

「昨年漢字」が「変」となった。「変」  
な1年だったという感想や「変えよう」  
という「変」。「変わらなければならぬ」  
時に「変えない」と「変」はさらに続く。  
「変えなければならぬこと」と「変え  
てはならないこと」を見極めるのは意  
外と難しい、「変え時」を見極めるの  
はさらに難しい。しかし、変化は常に  
起きている。未来のためにみんなの力で  
「変わっていく」! (迪)

あけましておめでとうございます。振  
返ってみれば昨年は、あんなことこんな  
こと暮らしに関する部分で多くの問題が  
発生しました。今年は、年頭にアメリカ  
大統領の交替ではじまり、衆議院選挙、  
陪審員制度、消費者行政の一元化、農  
政機構の改廃、団体訴権の「特商法」景  
表法」への差止め請求権の拡大等々：  
また、「COP15」や「国民投票法施行」  
1年前など、今年「チェンジ」と言う  
言葉が何かにつけ意識される一年になり  
そうです。元来、変化を嫌う国民性が  
日本人なら、暮らしを守る上で私たち  
自身「チェンジ」するこ  
とが重要かもしれません。  
(正)